



SAIKOKU



やまとさんだいかんのん

大和三大観音

かい



あぢさゐる回廊



日本最古の霊場、西国三十三所観音巡礼（日本遺産）の奈良札所寺院である壺阪寺、岡寺、長谷寺では今年も「あぢさゐる回廊」を開催します。装い新たな切絵御朱印をご用意してお待ちしています。

令和5年5月27日（土）～7月9日（日）



西国第六番札所
壺阪寺

大宝3（703）年、飛鳥寺の弁基上人が山中で修行していたころ、愛用の水晶壺を坂の上の庵に納め、感得した像を模刻して祀ったのが始まりと言われます。本尊十一面千手観世音菩薩様は、衆生救済の強い力を感じさせ、古来より眼病に靈驗あらたかな観音様、目の観音さまとして、広く信仰を集めています。春に「桜大仏」として知られた全長10mの大釈迦如来石像の周囲に紫陽花を荘厳し「紫陽花大仏」となった御姿で皆様をお迎えいたします。

●壺阪観音お身拭い特別結縁参拝

開催日時 令和5年4月29日（日）～7月2日（日） 8:30～16:30

料金 / 500円（入山料別途・共通券あり）

本尊のお膝に特製の布で触れて、深くご縁を結ぶことができます。

※二大塔（三重塔・多宝塔）初層特別開扉も同時開催



飛鳥の地に建立され1300年以上の歴史を刻む岡寺は、日本最古の巡礼道西国三十三所観音霊場の第七番札所です。また日本最初のやくよけ霊場としても信仰を集めており、特に女性の厄除けに靈驗あらたかといわれております。御本尊の如意輪観世音菩薩は日本最大の塑像（土でできた仏様）であり、国の重要文化財に指定されています。春にはシャクナゲや天竺牡丹、夏には紫陽花、青紅葉、秋には紅葉が境内を彩ります。1年を通じ厄除けの参拝や巡礼者で賑わう祈願と巡礼の寺院です。

西国第七番札所
岡寺

●本堂内々陣お扉特別開扉

開催日時 令和5年4月2日（日）～6月26日（月） 9:00～16:00

料金 / 大人400円、高校生300円、中学生200円、小学生以下無料

本尊の脇にある扉が開帳され間近から全身を拝むことができます。



御本尊は身の丈10mを越える大きさを誇る十一面観世音菩薩で、右手に錫杖を持ち大盤石に立つ独特の姿をしています。古くから観音詣での聖地として知られ、『源氏物語』や『枕草子』など多くの古典文学にも登場します。真言宗豊山派の総本山であり、西国三十三所霊場の第八番札所でもある長谷寺は、四季を通じて梅・さくら・牡丹・あじさい等の花々が咲くことから、別名「花の御寺」として多くの人々に親しまれています。

西国第八番札所
長谷寺

●本尊大観音特別拝観

開催日時 令和5年3月1日（水）～7月9日（日） 9:30～16:00

4月～ 9:00～16:00

料金 / 1000円（入山料別途・団体割引なし）

国宝本堂の中に入ることができ、お御足に直接触れることができます。

